2027年3月期 第2四半期決算説明会

連結決算の概要　事業環境および業績予想



株式会社SCREENホールディングス

代表取締役 取締役社長（CEO）
後藤 正人

常務執行役員（CFO）
石村 学

2026年10月30日

資料取り扱い上の注意

- 本資料および口頭にて提供する業績予想は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
  また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切り捨てで処理しております。比率は四捨五入しております。
- 本資料では、例えば、「FY2027/03」と示す場合、2026年4月1日～2027年3月31日の会計期間を表します。

FY2027/03Q2_20261030

SCREEN

Innovation for a Sustainable World

上期 連結決算の概要・業績予想

2027年3月期 第2四半期決算説明会

株式会社SCREENホールディングス
常務執行役員（CFO）　石村 学

2026年10月30日

FY2027/03 上期 連結業績の概要

売上高　　前年同期比

3,084 億円　**+12.5** % （+341億円）

営業利益　　前年同期比

545 億円　**+17.4** % （+80億円）

営業利益率　　前年同期比

17.7 %　**+0.8** pt

全社：前年同期比　増収増益

SPE：前年同期比　増収増益

スライド案件は売上完了

GA ：前年同期比　増収増益

本体、リカーリングとも売上増

受注は過去最高を更新

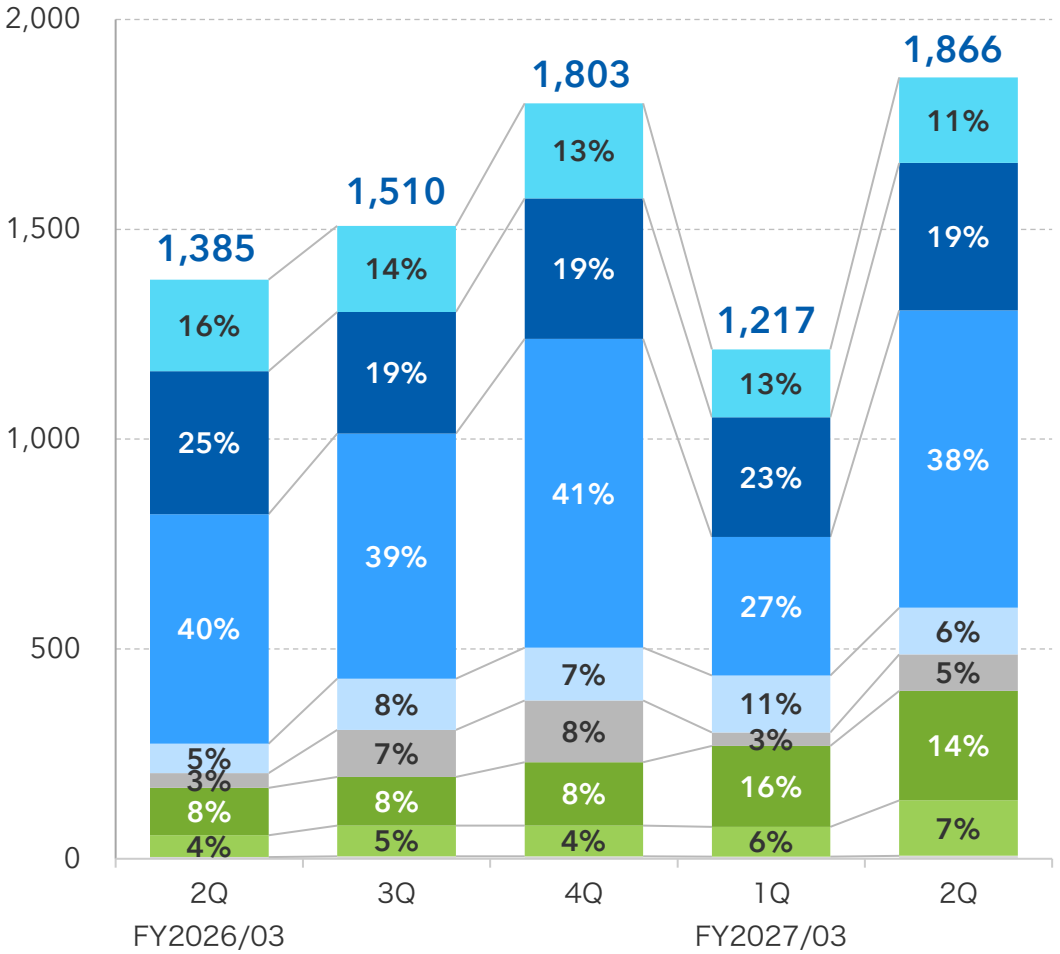
FY2027/03 上期 連結業績

四半期（億円）

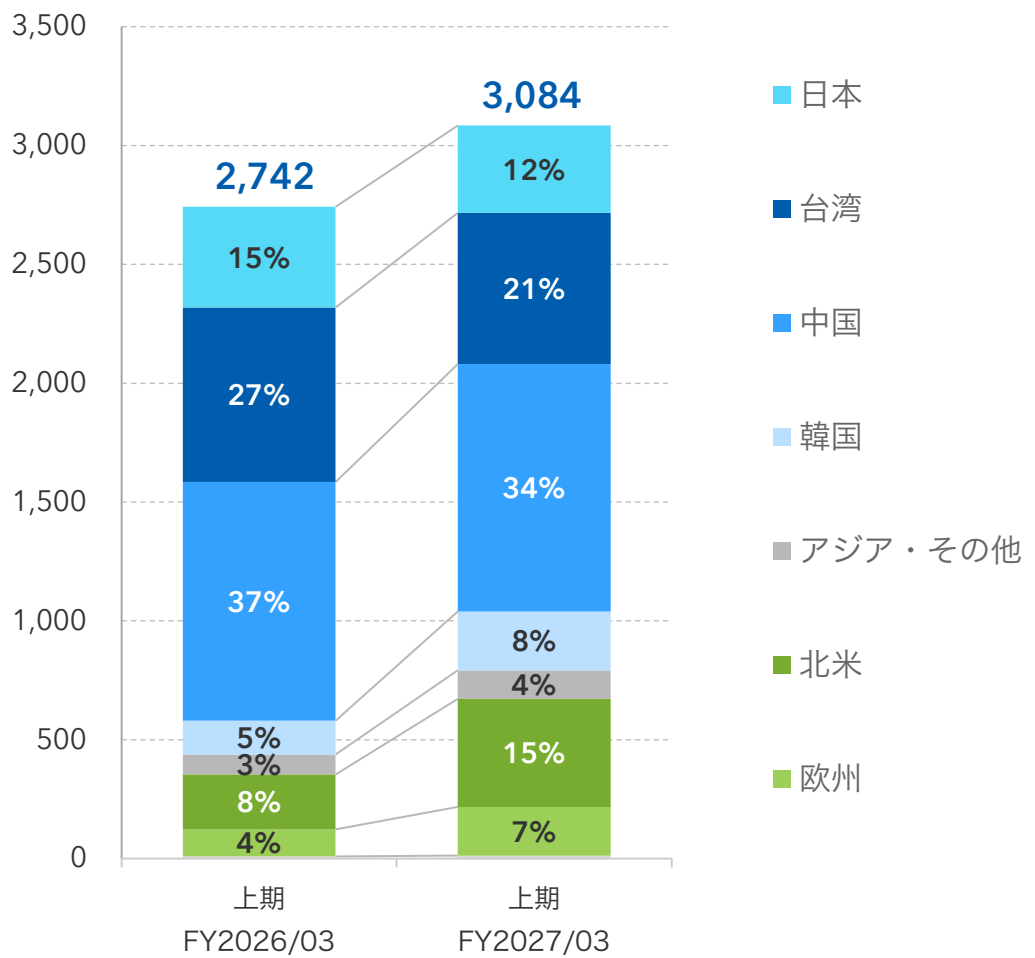
	FY2026/03						FY2027/03				
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	上期	前年同期比（上期比較）	
売上高	1,357	1,385	2,742	1,510	1,803	6,057	1,217	**1,866**	**3,084**	**341**	**12.5%**
営業利益 営業利益率	243 18.0%	220 15.9%	464 16.9%	309 20.5%	450 25.0%	1,225 20.2%	143 11.8%	**401** **21.5%**	**545** **17.7%**	**80**	**17.4%** **0.8pt**
経常利益	245	222	468	320	454	1,243	154	**405**	**559**	**91**	**19.5%**
親会社株主に帰属する当期純利益	166	151	318	230	370	920	104	**271**	**376**	**58**	**18.2%**

全社地域別売上高比率

四半期 （億円）



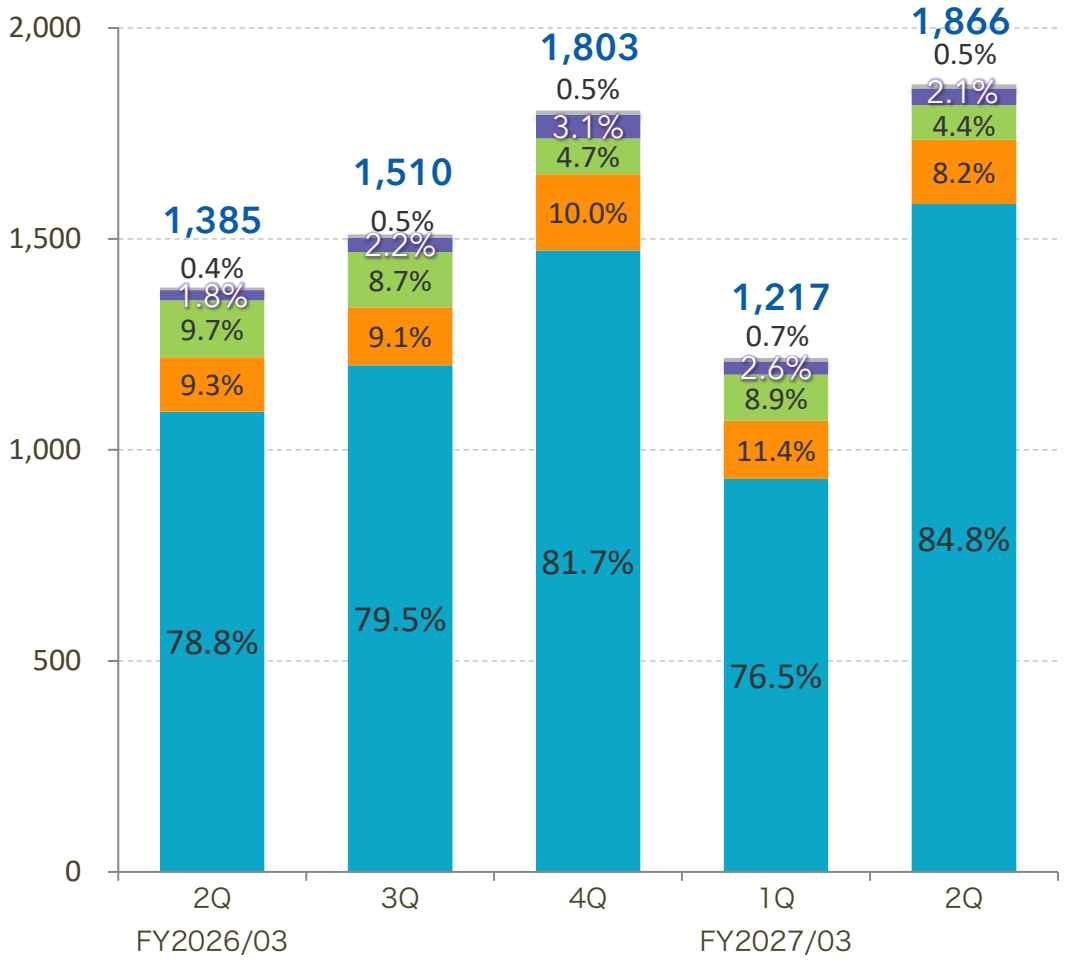
上期 （億円）



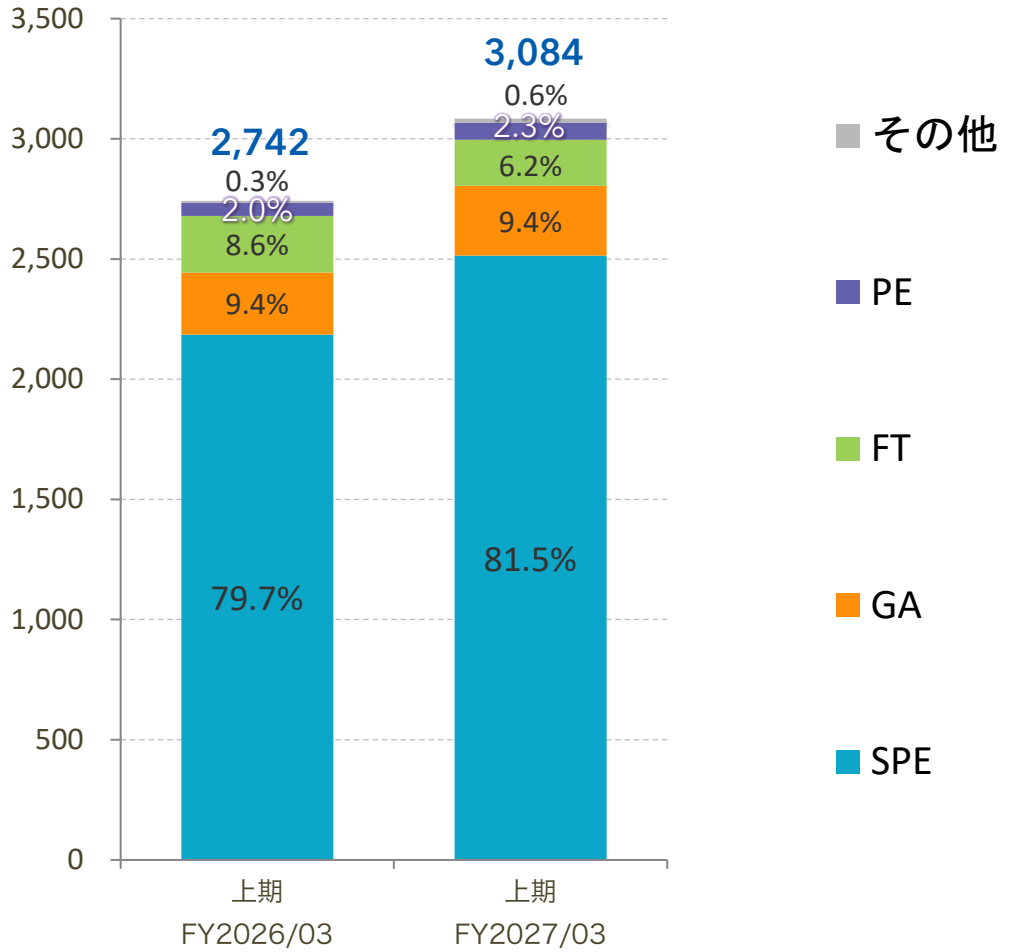
注） 比率は小数点以下を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります

セグメント別売上高比率

四半期 （億円）



上期 （億円）



注）比率は小数点第2位以下を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります。
2026年4月1日付でアドバンスドパッケージ事業を新規事業からFTへ移管。FTの売上高は2026年3月期 期首に当該移管が行われたと仮定して算定しています。

FY2027/03 上期 連結業績　セグメント別

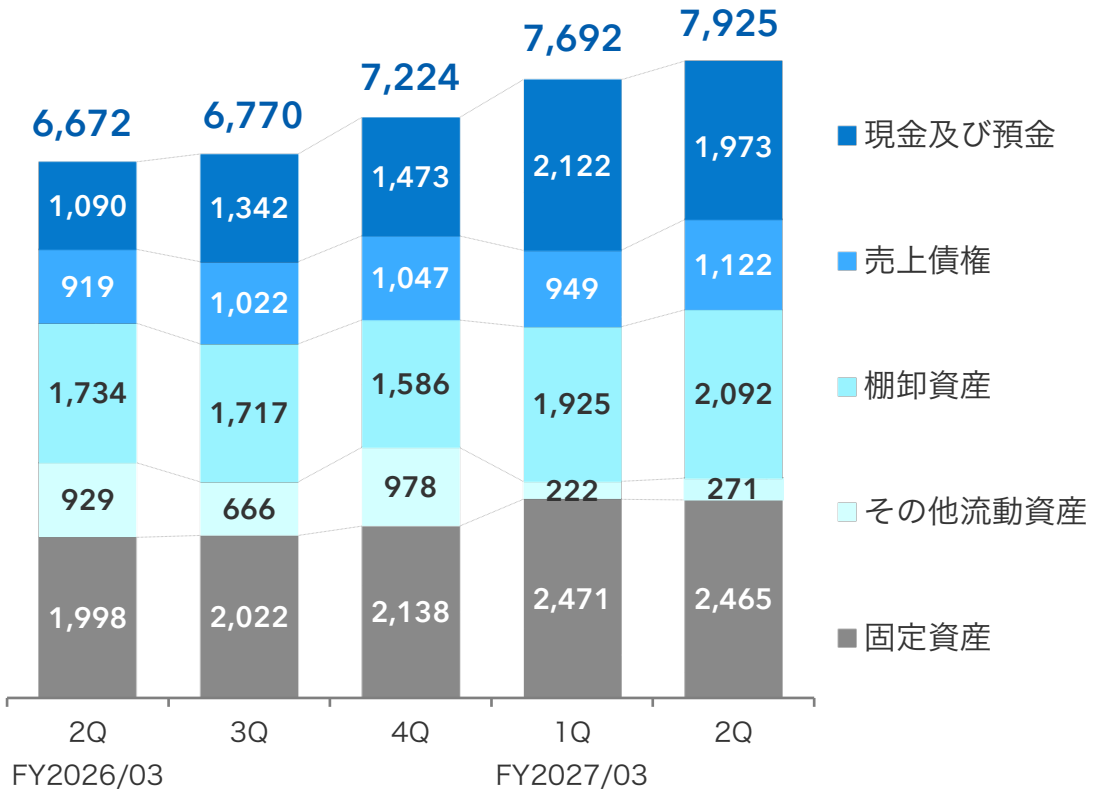
	（億円）	FY2026/03 1Q	2Q	上期	3Q	4Q	FY2027/03 1Q	2Q	上期	前年同期比（上期比較）		
SPE	売上高	1,095	1,090	2,185	1,200	1,473	931	**1,582**	**2,513**	**328**	**15.0%**	・増収・増益 メモリー向け増加 北米、韓国向け増加 （スライド案件は売上完了）
	営業利益	256	229	486	296	443	143	**431**	**575**	**88**	**18.2%**	
	営業利益率	23.5%	21.0%	22.3%	24.7%	30.1%	15.4%	**27.3%**	**22.9%**		**0.6pt**	
GA	売上高	129	128	258	137	179	138	**152**	**291**	**33**	**12.8%**	・増収・増益 本体、リカーリングビジネス とも売上増加
	営業利益	5	6	12	7	16	14	**2**	**17**	**4**	**40.4%**	
	営業利益率	4.4%	5.1%	4.7%	5.2%	9.3%	10.3%	**1.9%**	**5.9%**		**1.2pt**	
FT	売上高	100	134	235	131	85	108	**81**	**190**	**-44**	**-18.9%**	・減収・減益 OLED・LCD向け売上中心 ADPKGは計画どおり進捗
	営業利益	8	25	33	31	2	12	**-4**	**8**	**-24**	**-74.3%**	
	営業利益率	8.2%	18.6%	14.2%	23.8%	3.0%	11.8%	**-5.1%**	**4.5%**		**-9.7pt**	
PE	売上高	30	24	55	33	56	31	**39**	**70**	**15**	**27.6%**	・増収・利益は改善 下期に向け受注堅調
	営業利益	-0	-1	-2	-3	9	-2	**1**	**-1**	**0**	**-%**	
	営業利益率	-1.0%	-8.0%	-4.1%	-8.9%	16.2%	-9.5%	**3.4%**	**-2.3%**		**1.8pt**	

注）2026年4月1日付でアドバンスドパッケージ事業を新規事業からFTへ移管。売上高･営業利益･営業利益率はすべて、2026年3月期 期首に当該移管が行われたと仮定して算定しています。

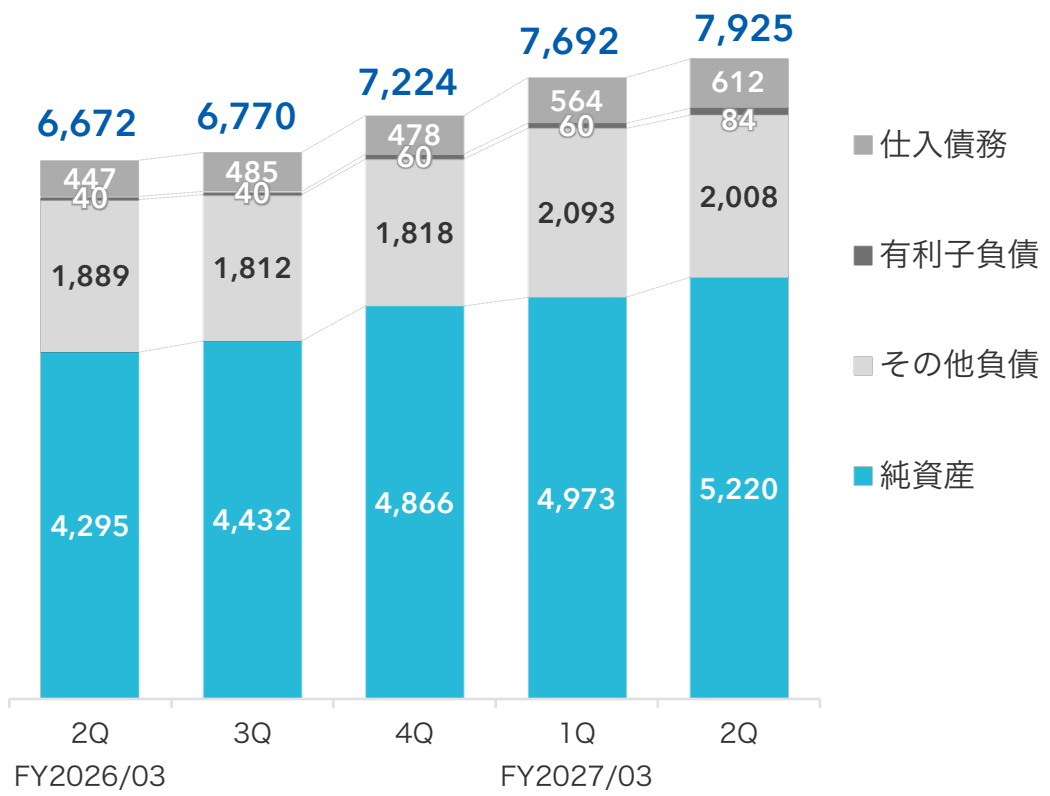
財務状況：連結貸借対照表

純資産は5,220億円に　自己資本比率 65.9%

資産　（億円）



負債および純資産　（億円）

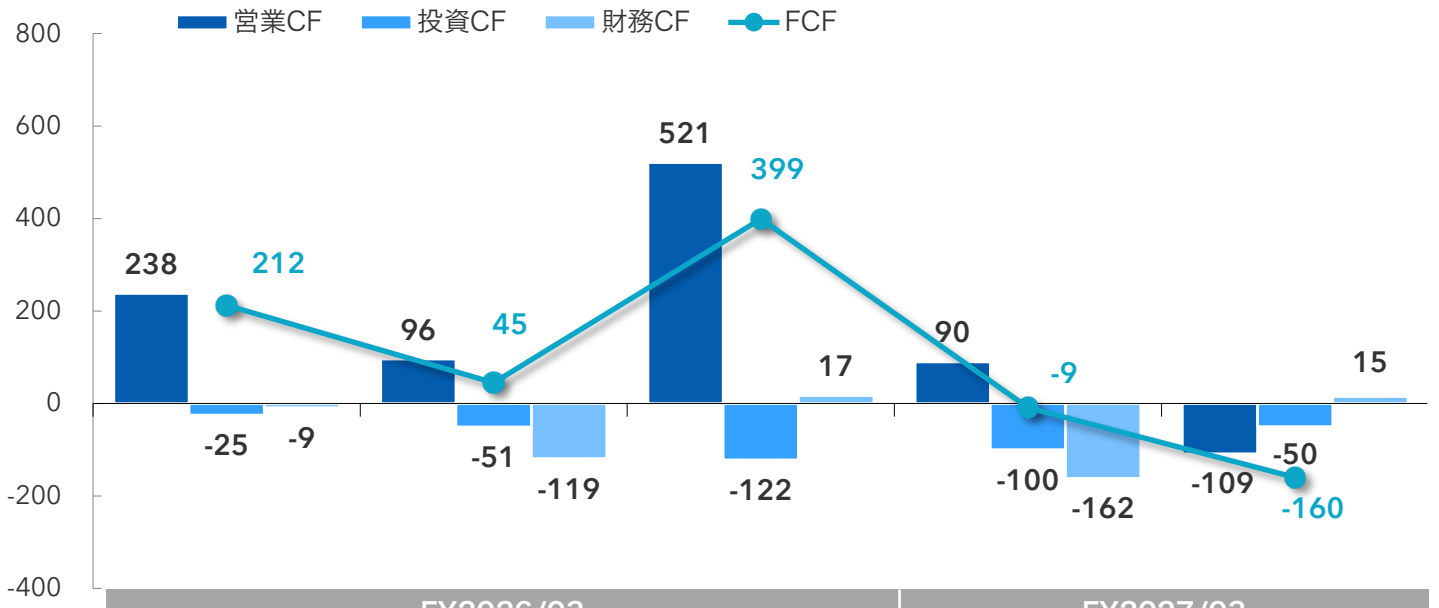


財務状況：連結キャッシュ・フロー

2Q営業CFは、SPE受注増による増加運転資金により▲109億円

四半期

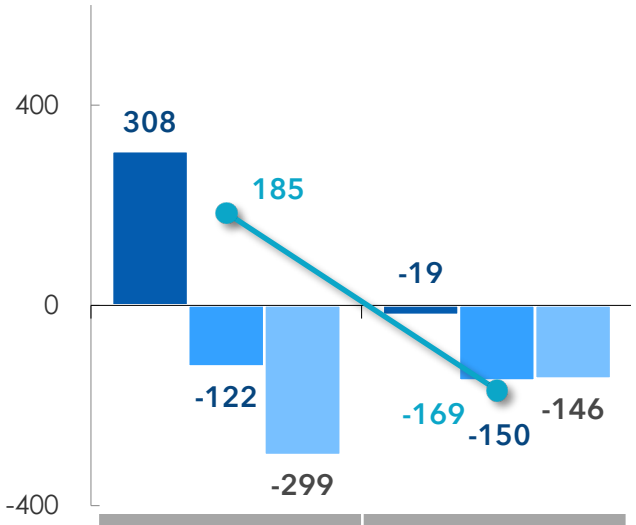
（億円）



（億円）	FY2026/03			FY2027/03	
	2Q	3Q	4Q	1Q	**2Q**
営業CF	238	96	521	90	**-109**
投資CF	-25	-51	-122	-100	**-50**
FCF*	212	45	399	-9	**-160**
財務CF	-9	-119	17	-162	**15**

上期

（億円）

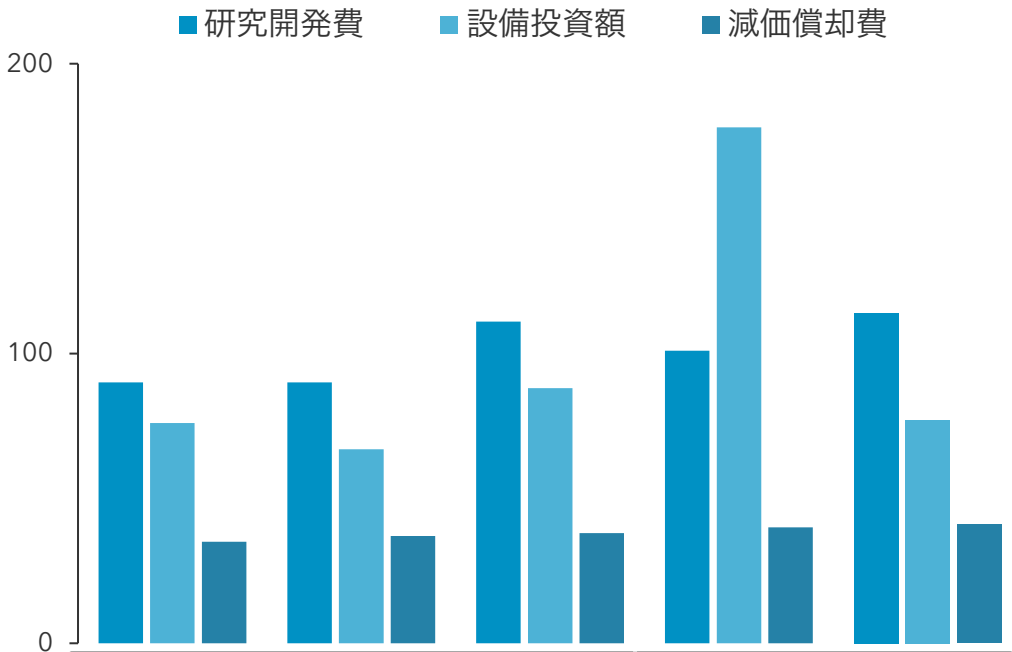


FY2026/03	FY2027/03
上期	**上期**
308	**-19**
-122	**-150**
185	**-169**
-299	**-146**

＊ FCF：フリーキャッシュ・フロー

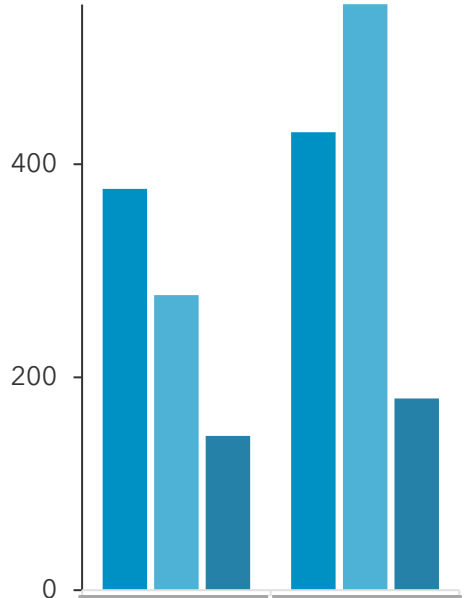
研究開発費・設備投資額・減価償却費

四半期 （億円）



（億円）	FY2026/03			FY2027/03	
	2Q	3Q	4Q	1Q	**2Q**
研究開発費	90	90	111	101	**114**
設備投資額	76	67	88	178	**77**
減価償却費	35	37	38	40	**41**

通期 （億円）



FY2026/03	FY2027/03
通期	**通期予想**
377	**430**
277	**580**
145	**180**

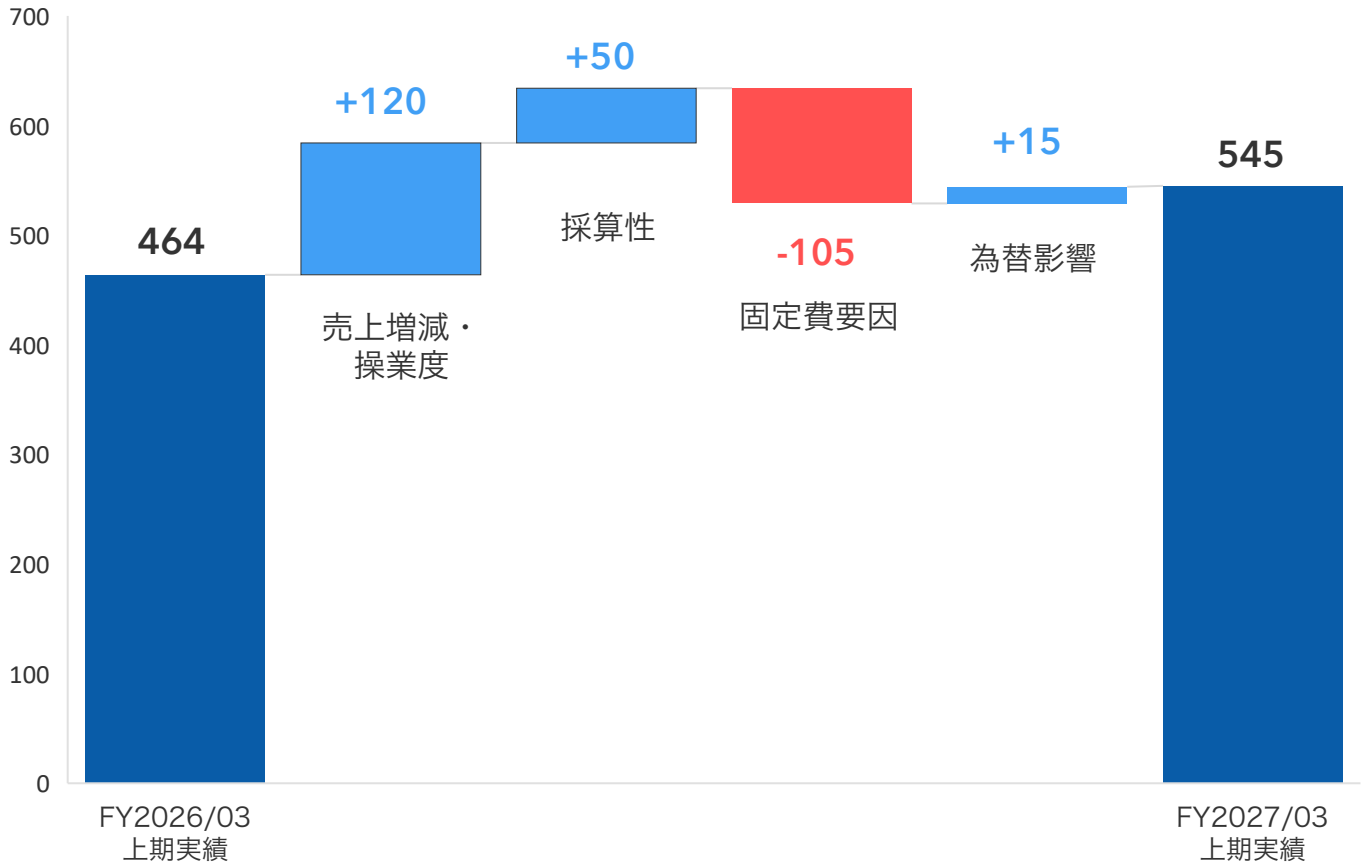
研究開発費
・2Q実績：SPE中心に想定通りの着地

設備投資額
・2Q実績：研究、生産、IT関連に加え、増産投資

・通期予想：成長投資（長岡京）により430億円(７月予想)から580億円に増額

営業利益増減分析

FY2026/03 上期実績 vs FY2027/03 上期実績 （億円）



注）利益要因は、5億円刻みの「約」表記

売上増減/操業度
主にSPEの増収

採算性
主にSPE

固定費
増加要因はSPEを中心とした成長投資
（研究開発費、人件費、減価償却費、など）

為替影響
主にGA

FY2027/03 業績予想 (2026年10月30日時点)

＊予想金額は5億円刻みの「約」表記

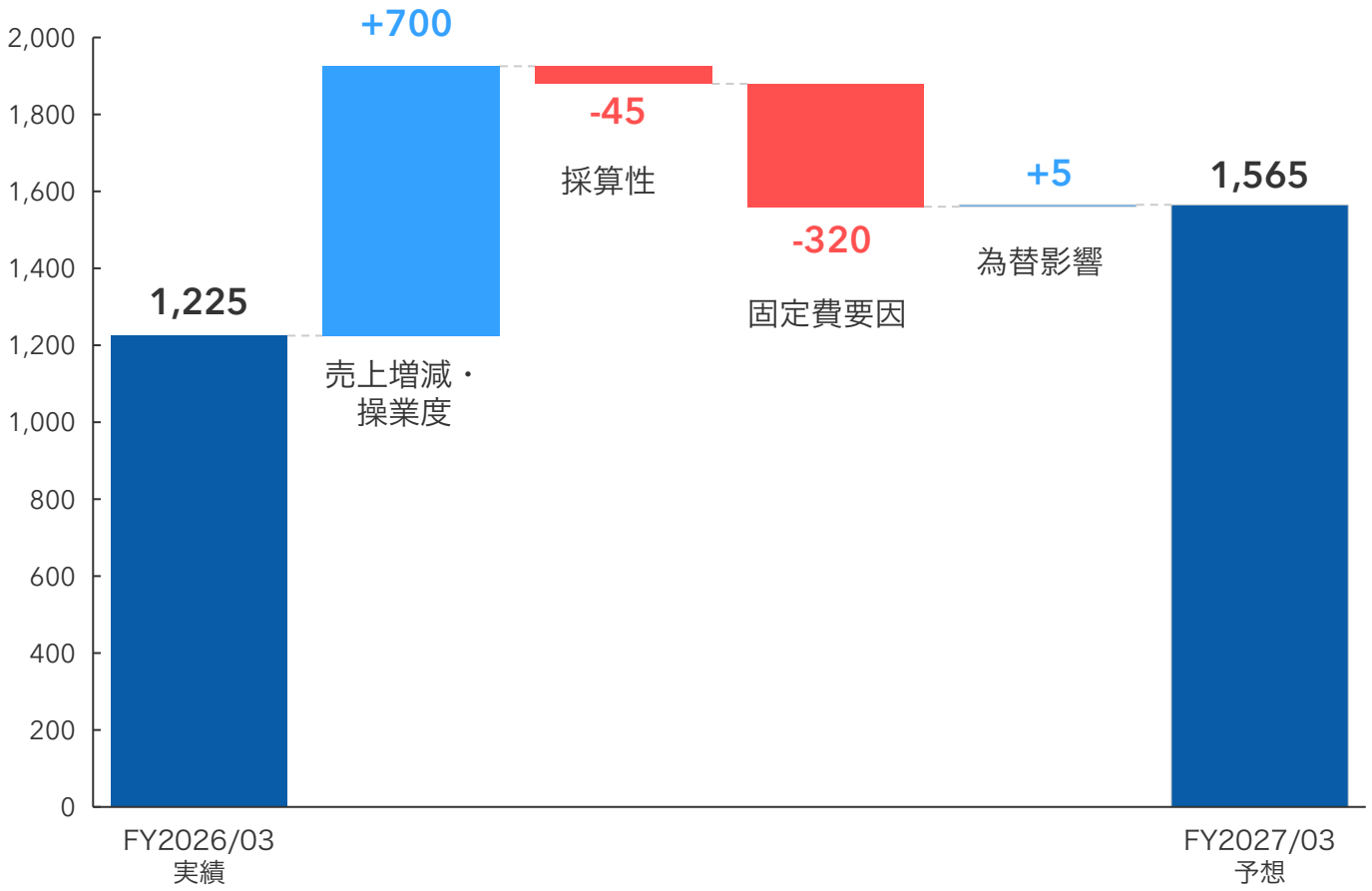
(億円)		FY2026/03	FY2027/03					
		通期実績	上期		下期		通期	
			7月発表予想	10月発表実績	7月発表予想	10月発表予想	7月発表予想	10月発表予想
売上高		6,057	3,170	**3,084**	4,260	**4,346**	7,430	**7,430**
営業利益 営業利益率		1,225 20.2%	560 17.7%	**545** **17.7%**	1,005 23.6%	**1,020** **23.5%**	1,565 21.1%	**1,565** **21.1%**
経常利益		1,243	560	**559**	1,005	**1,006**	1,565	**1,565**
親会社株主に帰属する**当期純利益**		920	375	**376**	775	**774**	1,150	**1,150**
SPE	売上高	4,859	2,600	**2,513**	3,600	**3,687**	6,200	**6,200**
	営業利益 営業利益率	1,227 25.2%	605 23.3%	**575** **22.9%**	985 27.4%	**1,015** **27.5%**	1,590 25.6%	**1,590** **25.6%**
GA	売上高	574	285	**291**	315	**309**	600	**600**
	営業利益 営業利益率	36 6.3%	25 8.8%	**17** **5.9%**	30 9.5%	**38** **12.3%**	55 9.2%	**55** **9.2%**
FT	売上高	451	200	**190**	230	**230**	430	**420**
	営業利益 営業利益率	67 14.9%	15 7.5%	**8** **4.5%**	10 4.3%	**2** **0.9%**	25 5.8%	**10** **2.4%**
PE	売上高	145	70	**70**	95	**95**	165	**165**
	営業利益 営業利益率	3 2.6%	0 0.0%	**-1** **-2.3%**	15 15.8%	**16** **16.8%**	15 9.1%	**15** **9.1%**
その他および調整	売上高	26	15	**17**	20	**28**	35	**45**
	営業利益	-108	-85	**-54**	-35	**-51**	-120	**-105**

注）FY2027/03（通期）想定為替レート>> 1USD＝￥150 、1EUR＝￥175　想定為替感応度（通期営業利益ベース）>> 対USD：￥1.3億、対EUR：￥0.2億
2026年4月1日付でアドバンスドパッケージ事業を新規事業からFTへ移管。FTの売上高･営業利益･営業利益率は2026年3月期 期首に当該移管が行われたと仮定して算定しています。

営業利益増減分析

FY2026/03 実績 vs FY2027/03 予想

(億円)



注）利益要因は、5億円刻みの「約」表記

売上増減/操業度
主にSPEが貢献

採算性
主にSPE

固定費
増加要因はSPEを中心とした
成長投資
（研究開発費、人件費、減価償却費など）

為替影響
主にGA

配当について

	2026年3月期　実績	2027年3月期（予想）	
		5月発表	7月・10月発表
1株当たり中間配当	61.5円	60円	60円
1株当たり期末配当	85円	115円	123円
合計	146.5円	175円	183円

注）1. 2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。
2. 配当金は2026年3月期 期首に当該分割が行われたと仮定して算定しています。
3. 中期経営計画では連結配当性向30%以上を株主還元方針として設定しております。

事業環境および業績予想詳細

2027年3月期 第2四半期 決算説明会

株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 取締役社長（CEO）　後藤 正人

2026年10月30日

FY2027/03 通期業績予想　概要

全社：

・過去最高の受注継続

・上方弾力性を持った増産体制を着実に構築し、さらなる成長フェーズへ

SPE：

・先端ロジック、メモリー製造における洗浄の重要性の高まりによって、
WFE以上の売上成長機会

成長投資を着実に実行：

・長岡京設備改修をはじめ、増産に向けたSPE設備投資は急ピッチで進行中

・米国開発拠点「ATCA」、さらなる競争力強化向け本格的に始動

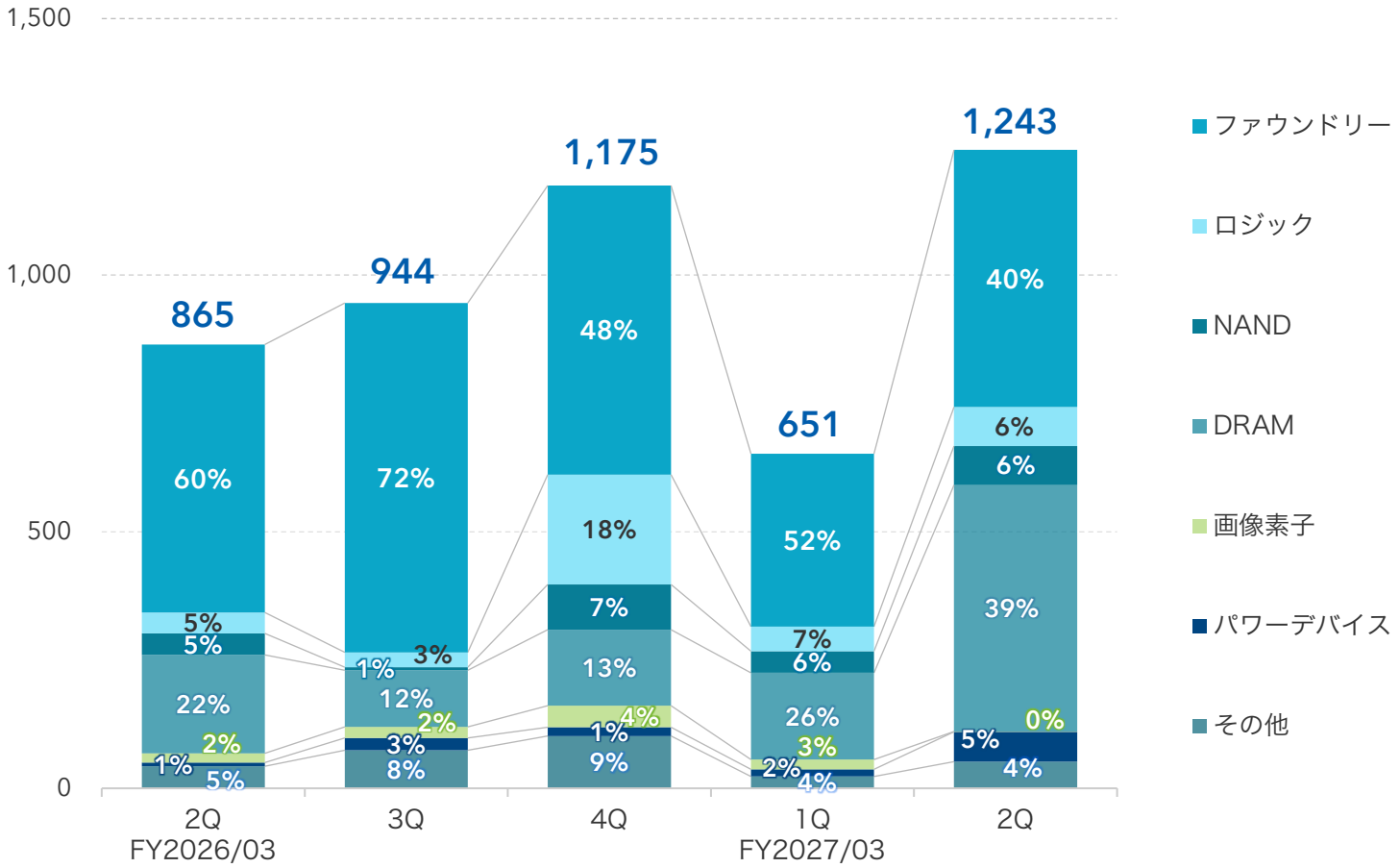
SPE 事業概況

市場動向および見通し

- **WFE**：CY2026は$155B（CY2025の実績を$124Bと置き25%成長）
  CY2027は$200B規模を見込む
- **アプリケーション別投資動向**
  - ファウンドリー　先端GPU・CPUだけでなく、周辺のデバイス投資も活況
  - ロジック　投資領域を見極めつつ先端への投資再加速
  - メモリー　HBM、サーバーDRAM向け投資が成長を牽引、NAND投資も本格的に始動
  - 画像素子　車載や産業向けを中心に投資は緩やかに持ち直し
  - パワーデバイス・その他　データセンター関連パワーマネージメントなど投資回復の兆し
  - アドバンスドパッケージ　WLP向け投資は堅調、PLPは量産化に向け徐々に進行中
- **中国市場**：成熟ノード向け投資は高水準を維持、
  ファウンドリーをはじめDRAM、NANDもWFEを牽引

SPE 新規装置アプリケーション別売上推移　-ポストセールスは別スライドで表示

四半期（億円）



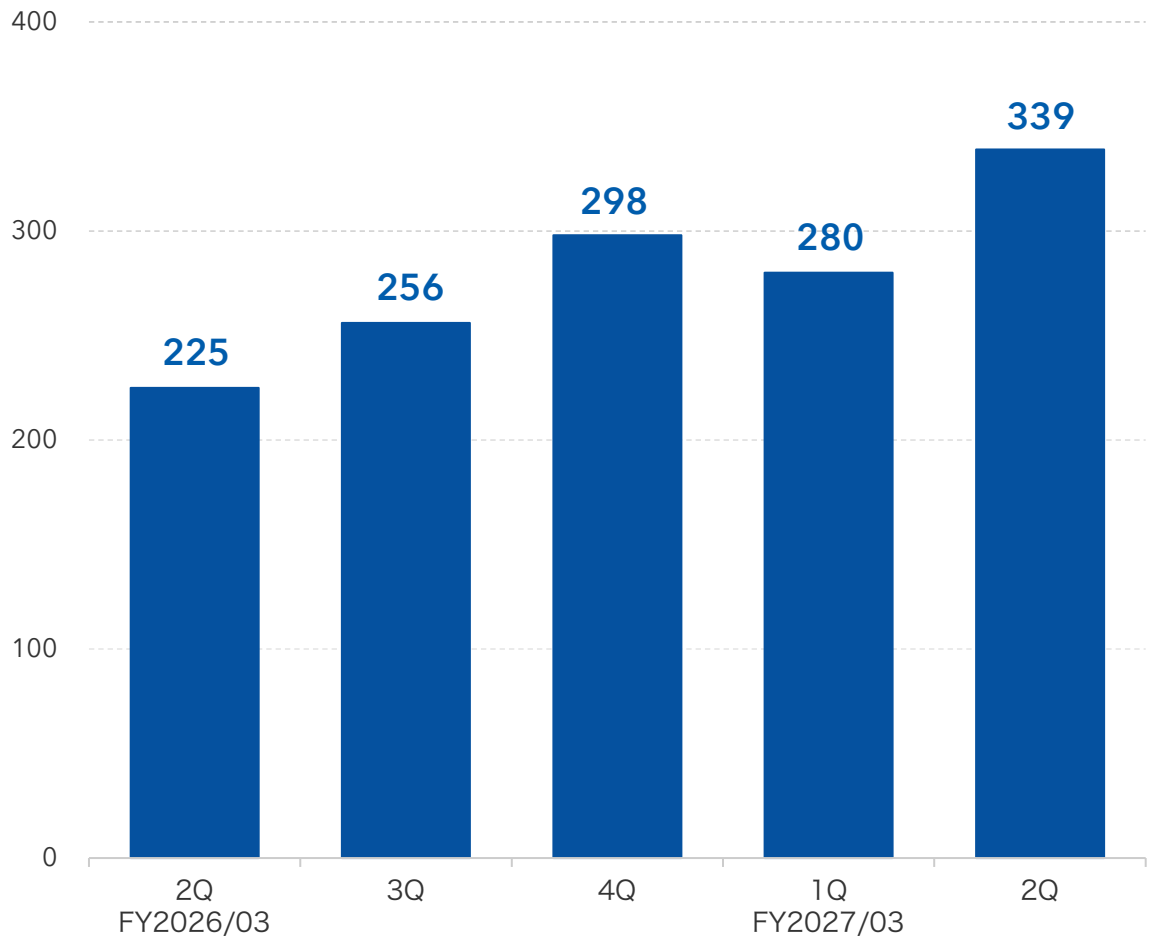
2Q : QoQ
DRAM大幅増加
（スライド案件は売上完了）

2Q : YoY
DRAM大幅増加

注）1. グラフは新規装置売上のみのアプリケーション別比率です。ポストセールスは別スライドで表示しています
2. 比率は小数点以下を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります

SPE ポストセールス売上推移

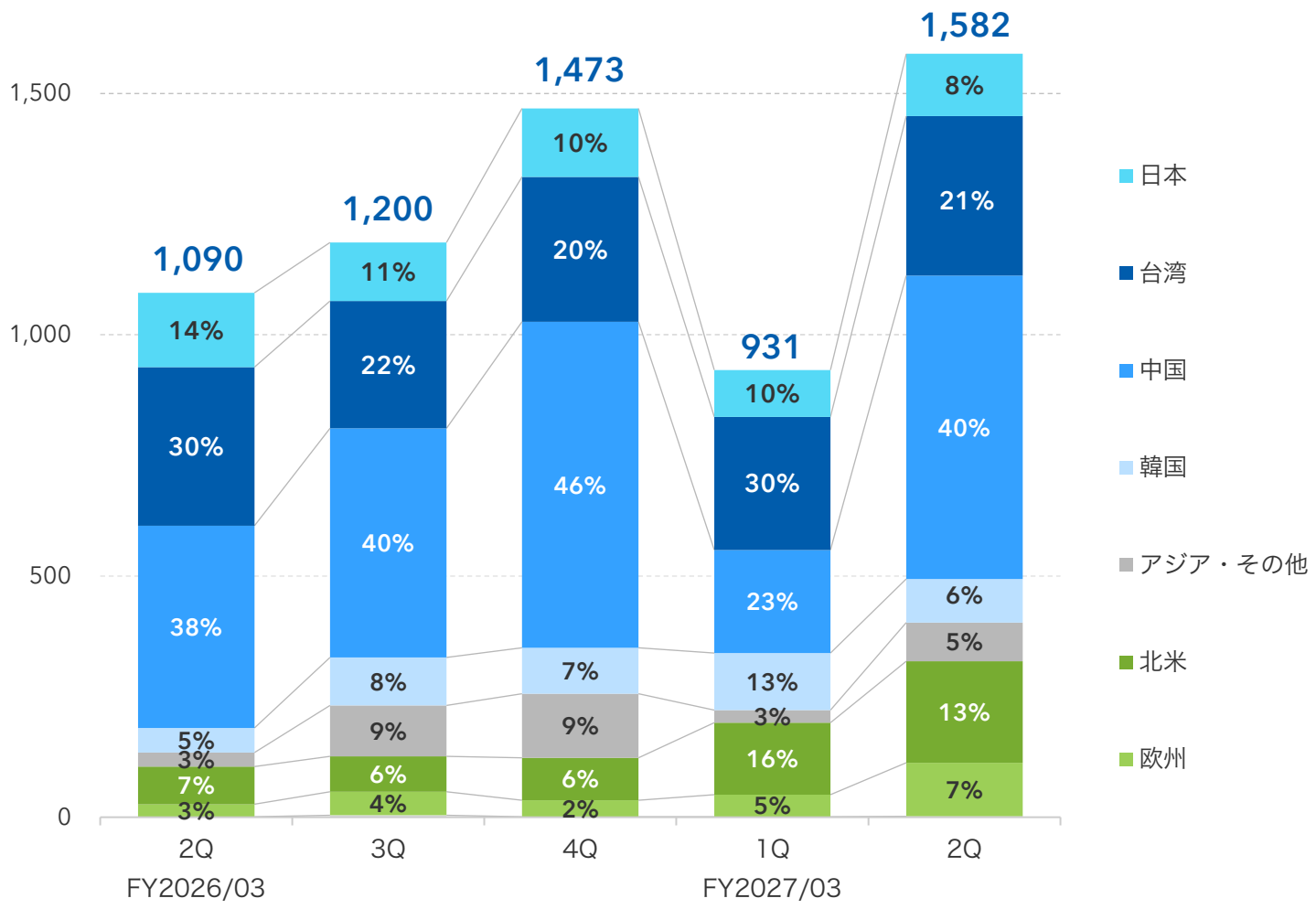
四半期（億円）



- 2Qは過去最高の売上
- 今後も四半期で上下はあるも
  右肩上がりの成長を想定

SPE 売上高比率　地域別　仕向地ベース

四半期（億円）



2Q : QoQ
中国大幅増加

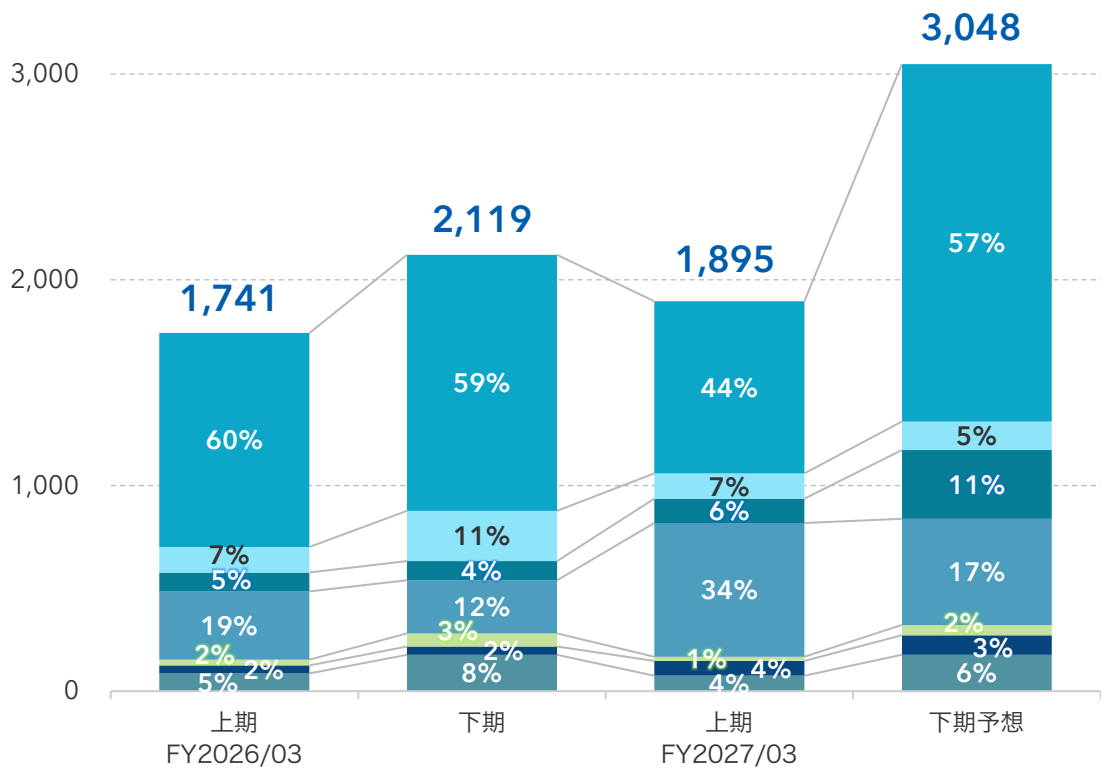
2Q : YoY
北米、中国、欧州向け増加

注） 比率は小数点以下を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります

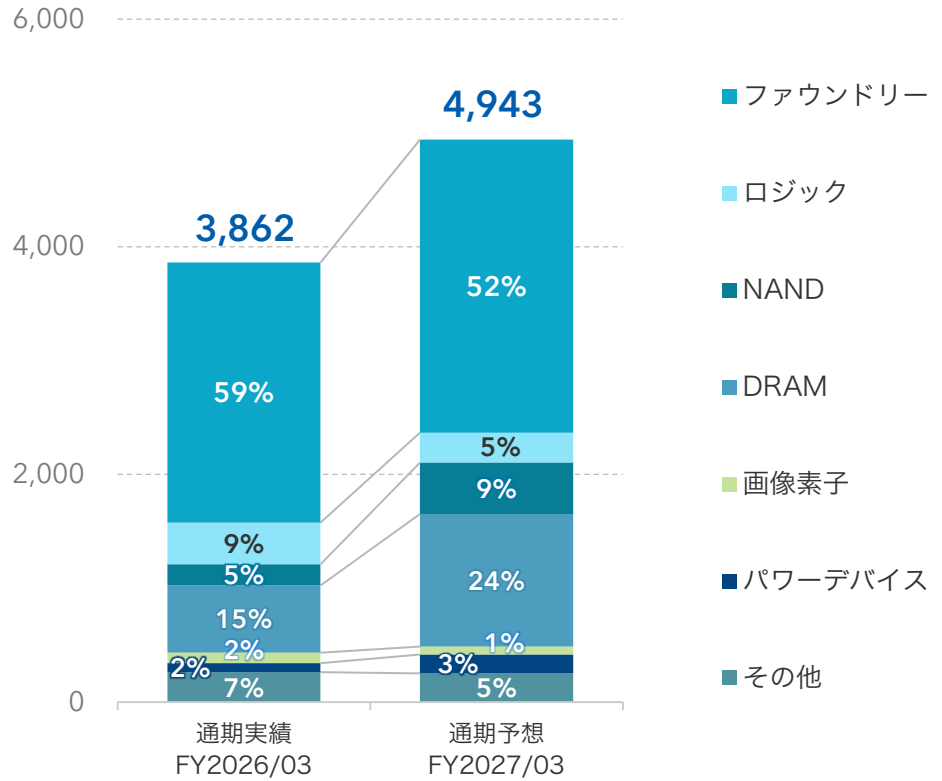
SPE 売上高比率予想　新規装置アプリケーション別　-ポストセールスは別スライドで表示

- **前期上期 vs 今期上期**：DRAM大きく増
- **上期実績 vs 下期予想**：ファウンドリーが大きく増、NANDも増
- **前期通期実績 vs 今期通期予想**：DRAM、ファウンドリー、NAND増

半期 （億円）



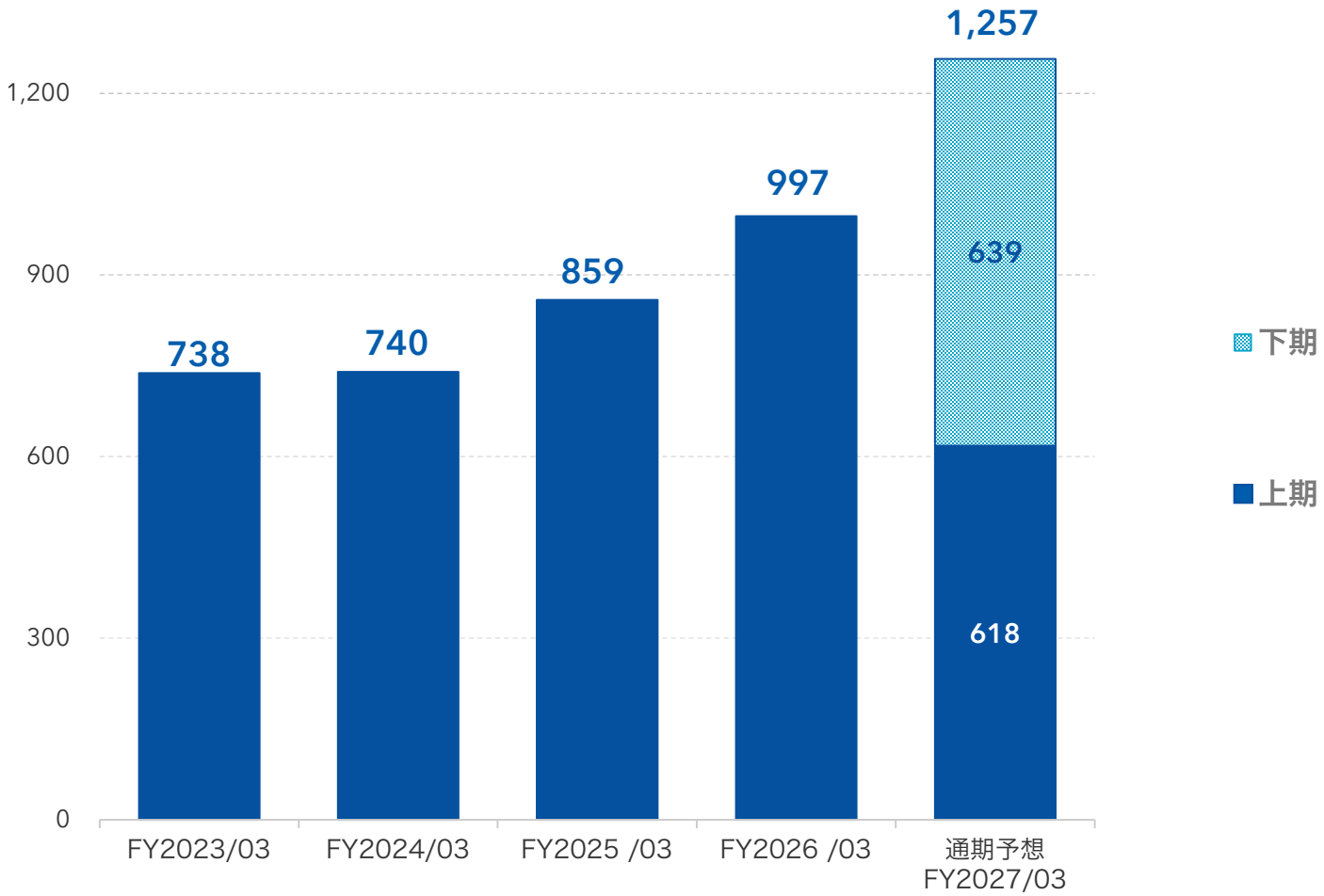
通期 （億円）



注） 比率は小数点以下を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります

SPE ポストセールス売上推移・予想

通期　（億円）

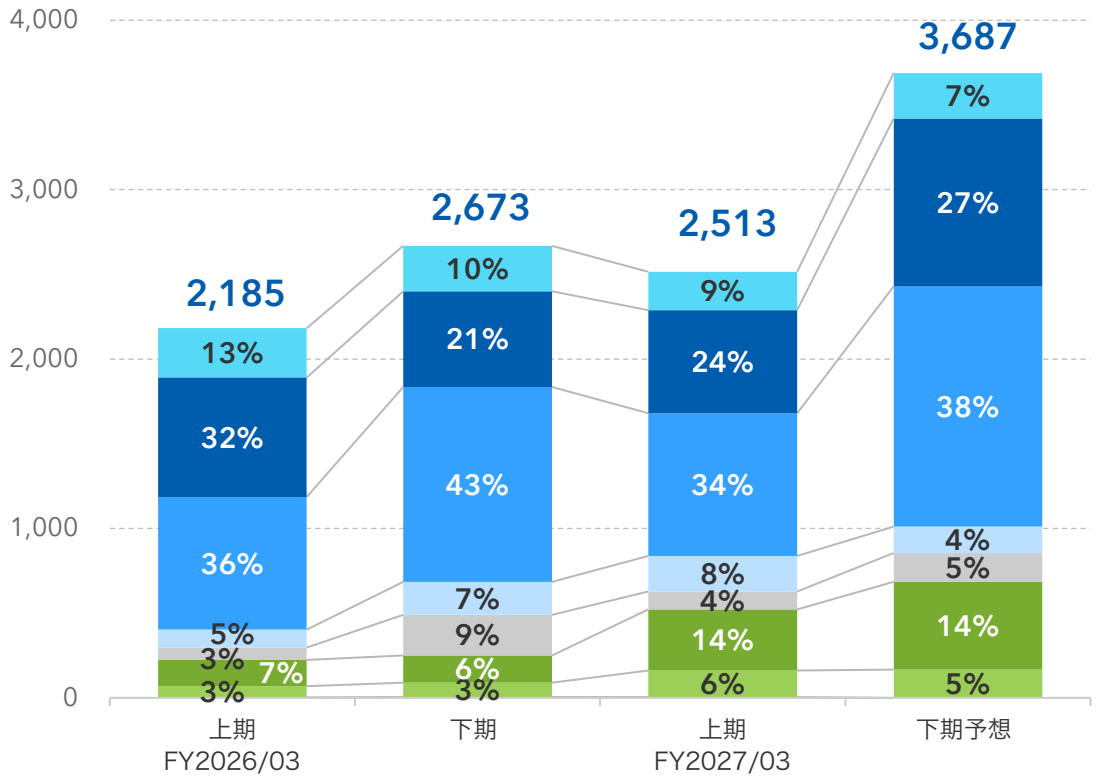


お客様工場の高稼働率を背景に、ポストセールスは順調な伸びを見込む

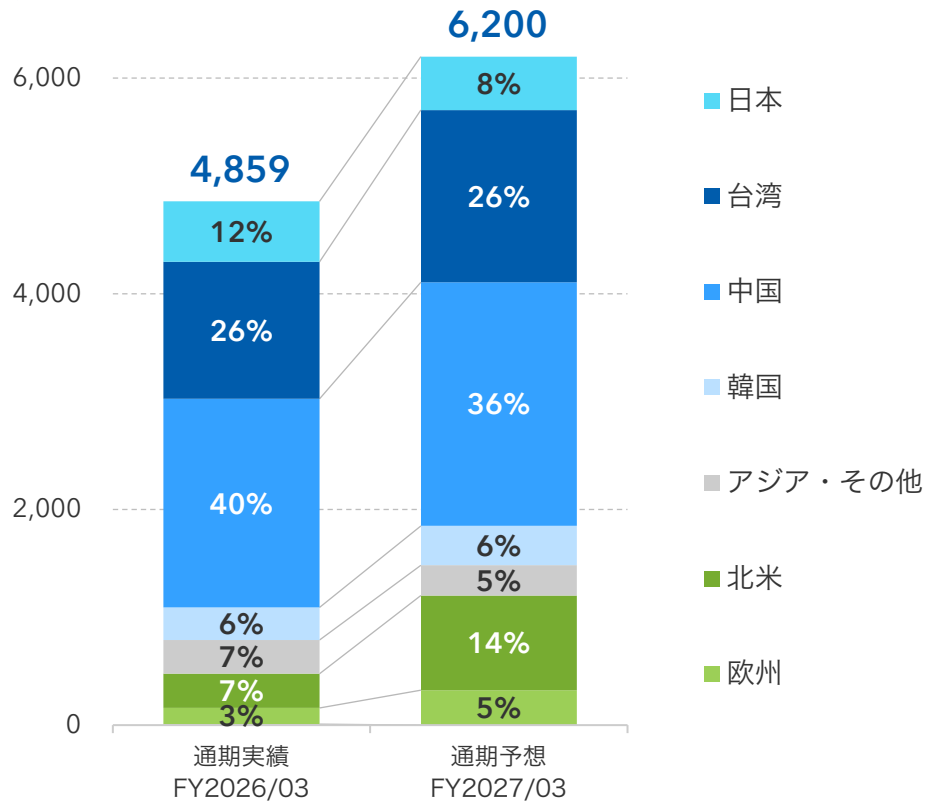
SPE 売上高比率予想　地域別　仕向地ベース

- **前期上期 vs 今期上期：**北米、欧州、韓国が増加
- **上期実績 vs 下期予想：**主に中国、台湾、北米で増加見込み
- **前期通期実績 vs 今期通期予想：**今期は、主に北米、中国、台湾で増加見込み

半期 （億円）



通期 （億円）



注） 比率は小数点以下を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります

Highlight

半導体製造装置の生産能力強化に向けて、長岡京市に新拠点を開設 ＜2026年10月30日＞

・2024年3月に取得した土地・建物を活用し、半導体製造装置の生産に適した環境へ改修

- 投資費用：約250億円
- 延床面積：約25,500平方メートル

・半導体洗浄装置生産工程の一部を担い生産体制を強化

・SBT(Science Based Targets)の達成に向け、省エネルギー対応設備導入。環境負荷低減に取り組む

■期待される価値創出

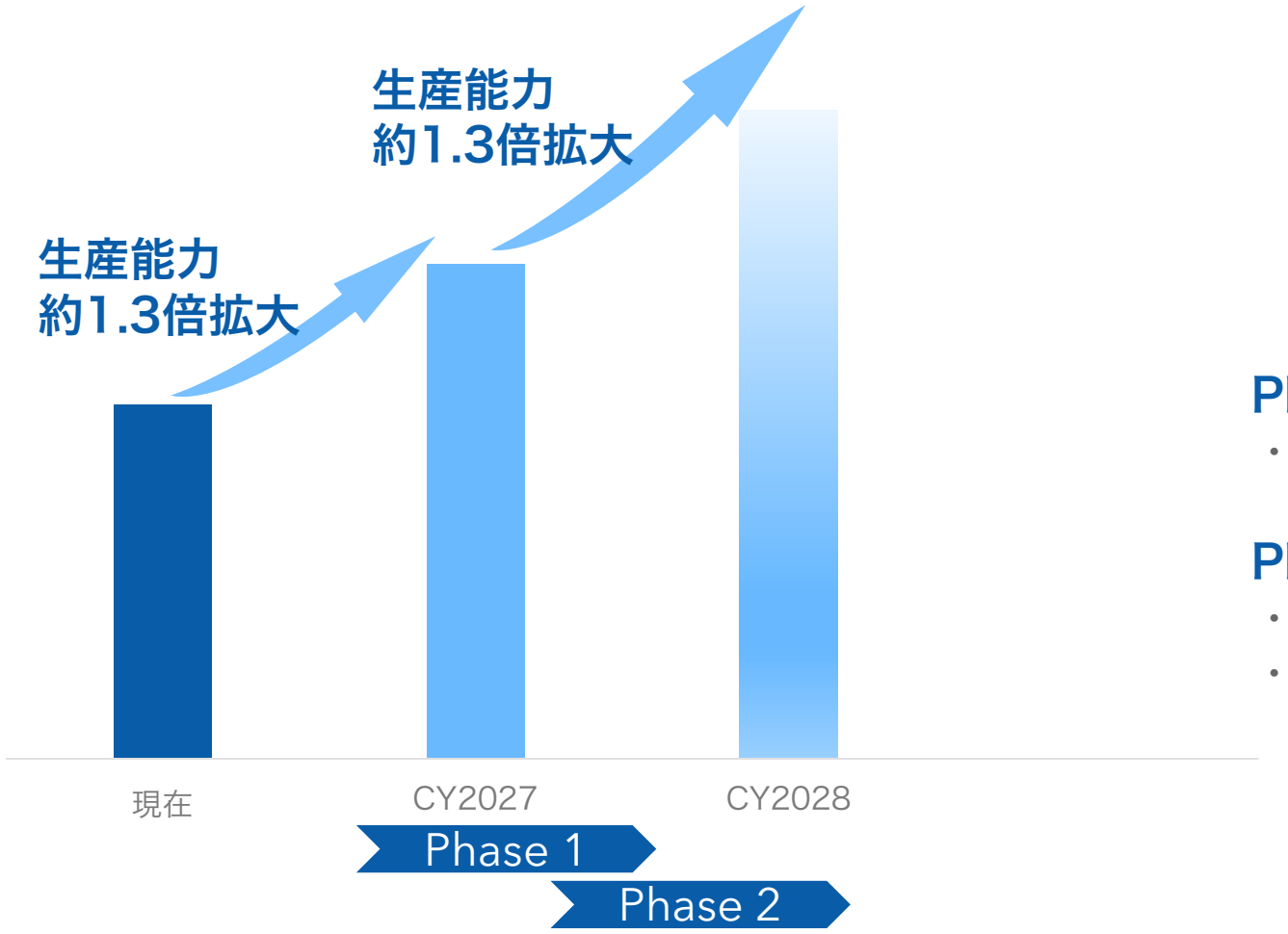
・SPE事業全体の生産能力を拡充、品質向上、生産効率の向上に繋げる（操業開始: 2028年1月）

・事業成長と環境負荷低減の両立を図り、持続可能な社会の実現に貢献

› 今後の半導体製造装置事業（SPE）における需要拡大に柔軟に対応し、SCREENのさらなる事業成長につなげる

生産能力増強イメージ (SPE)

WFE市場成長を上回る生産能力を確保





彦根事業所

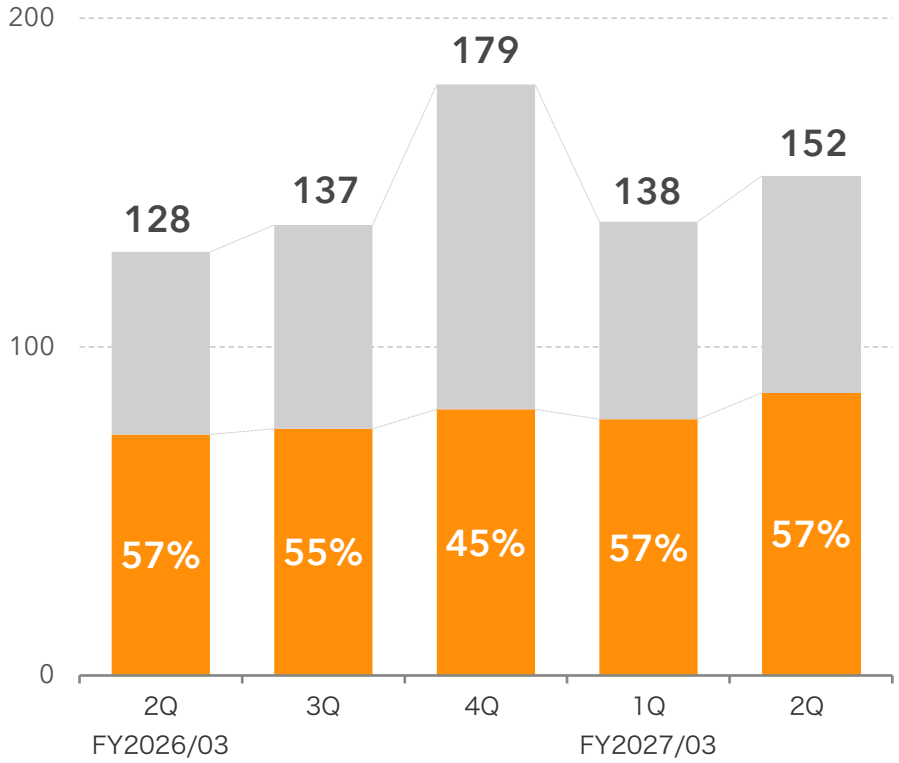
Phase 1: 改修
・既存彦根事業所の生産効率化

Phase 2: 拡張
・彦根事業所内施設の戦略的再配置
・長岡京拠点を活用し、製造体制を強化

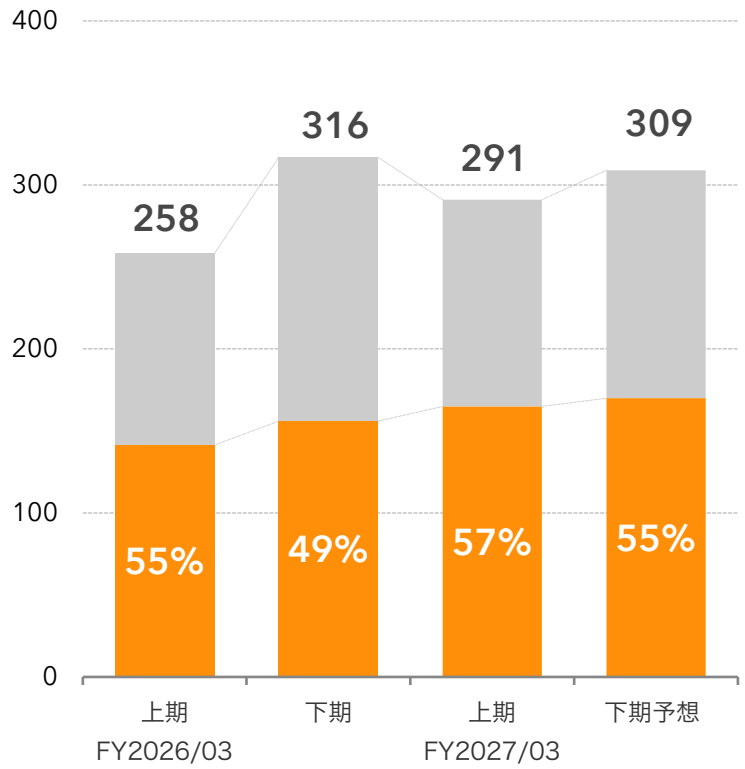
GA 売上高推移

› 米国デジタル印刷向け装置売上が堅調に推移、増収を目指す
› 安定収益のリカーリングビジネスを推進し収益力を強化する

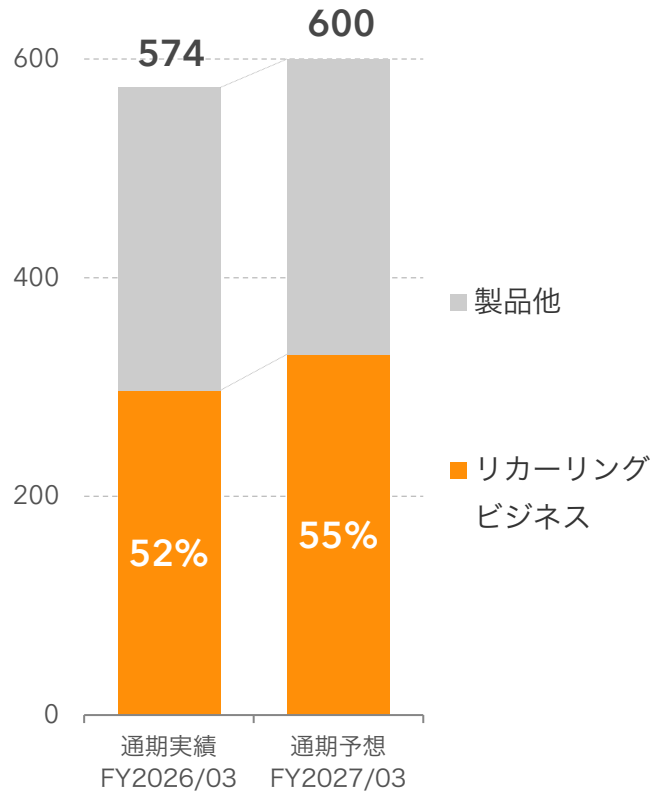
四半期 （億円）



半期 （億円）



通期 （億円）

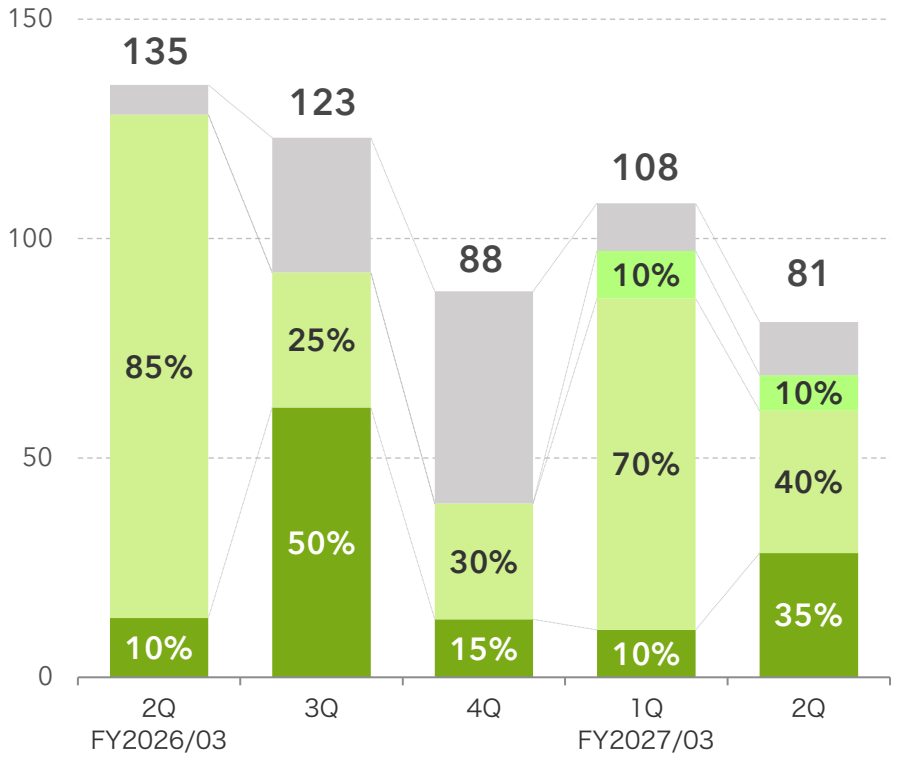


注） 予想比率は、5%刻みの「約」表記

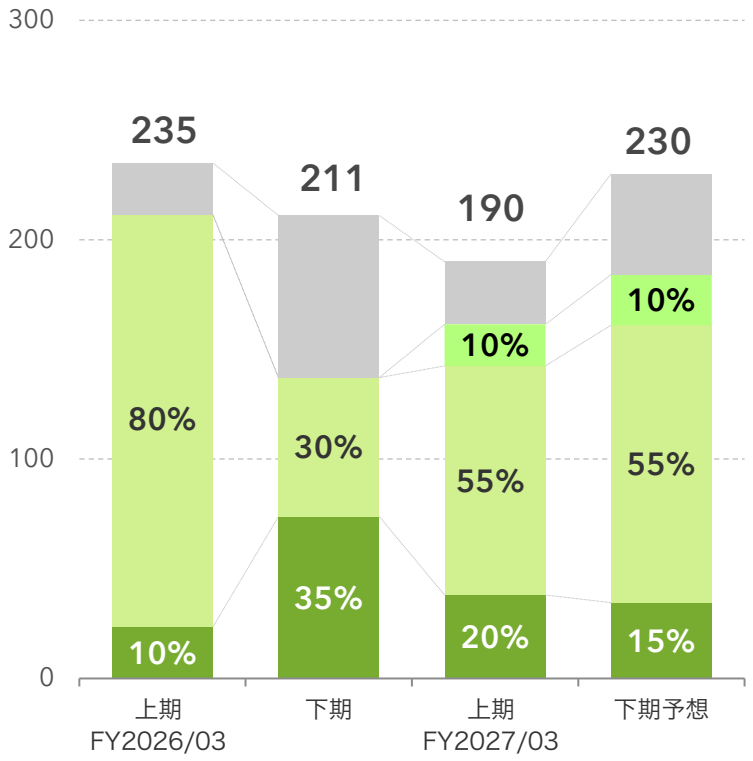
FT 売上高推移

› OLED向け装置販売を推進し、安定収益を確保する
› アドバンスドパッケージとのシナジーで事業拡大と収益力強化を狙う

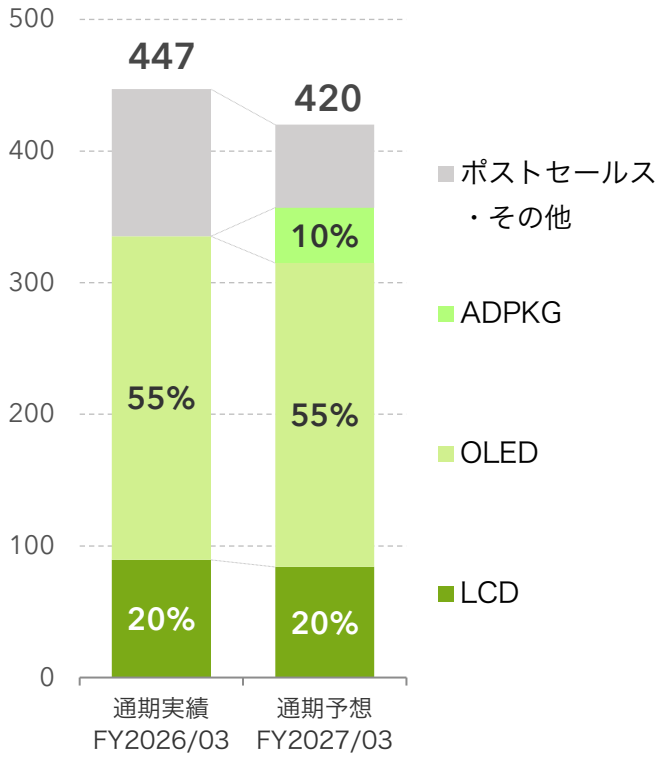
四半期 （億円）



半期 （億円）



通期 （億円）

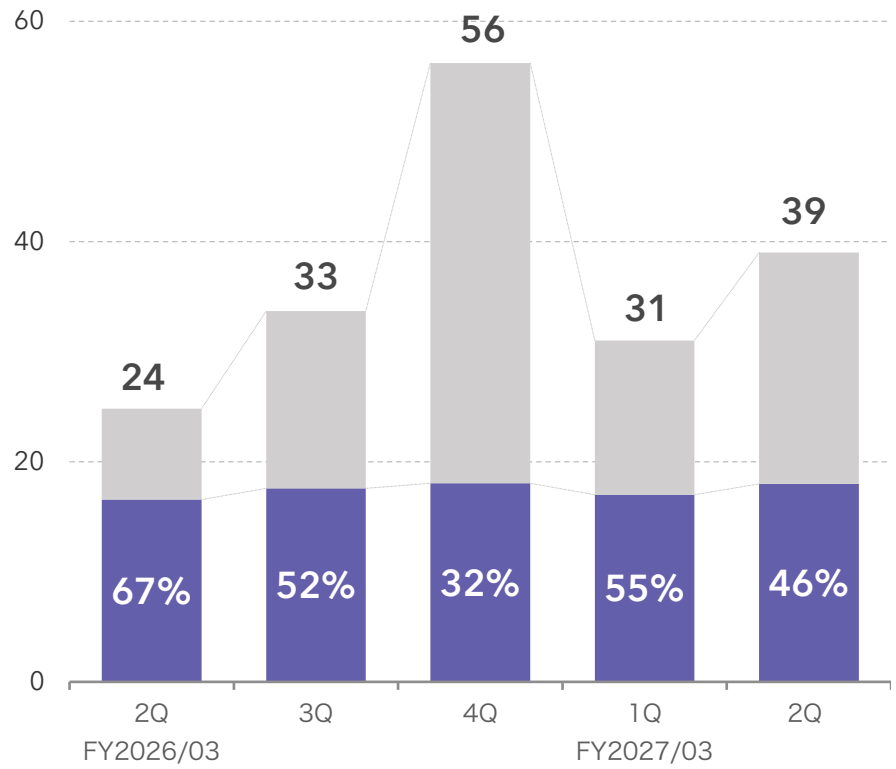


注）1. 比率は、5%刻みの「約」表記
2. 本ページの2026年3月期の売上には、アドバンスドパッケージ事業は含んでいません。

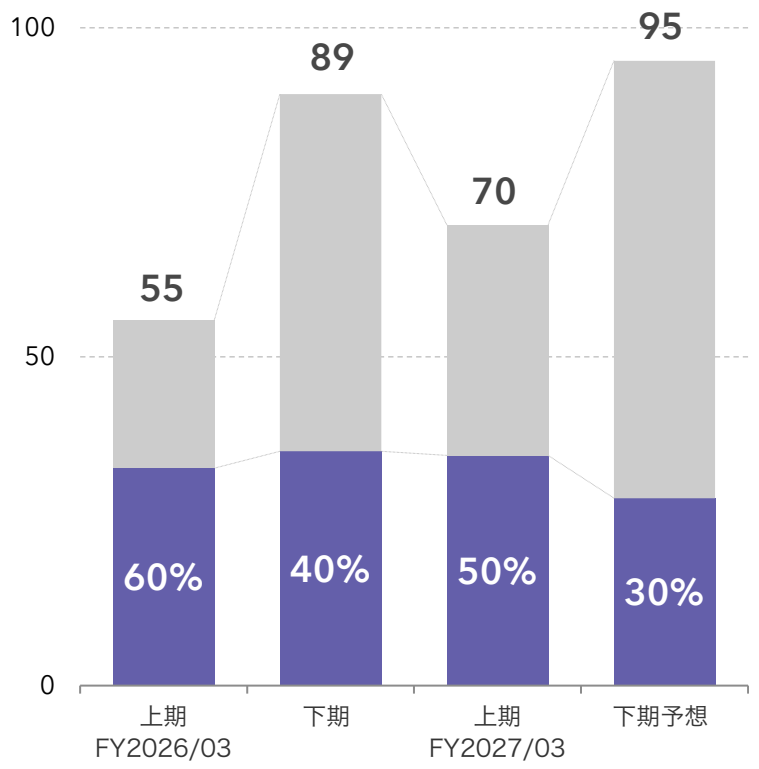
PE 連結売上高推移

› AIサーバー向けの旺盛な設備投資を背景に強い受注が継続
› 下期は売上増に加えて収益力の回復で通期予想の達成を狙う

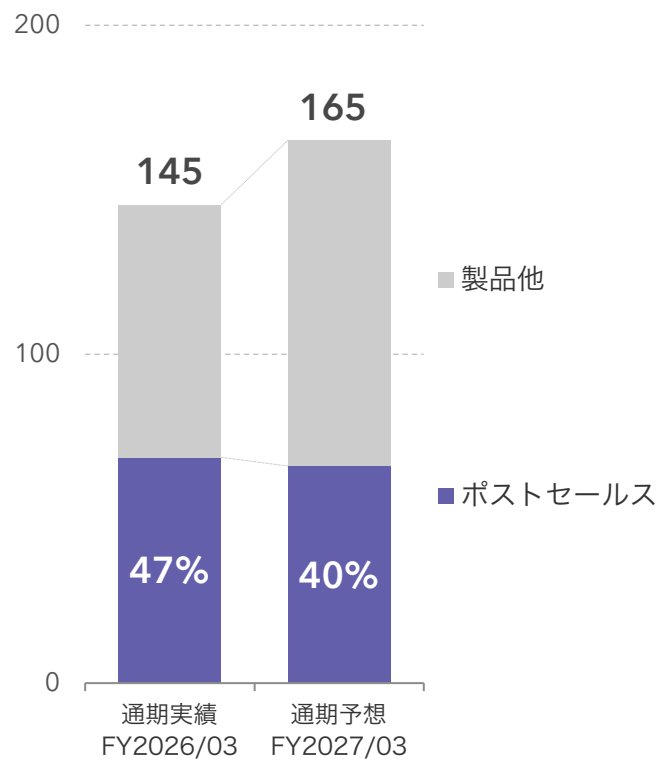
四半期 （億円）



半期 （億円）



通期 （億円）



注） 予想比率は、5%刻みの「約」表記

最近のグループニュース（公式サイトより抜粋：2026年7月29日～10月30日）

詳細はこちら （公式WEBページへ）

HD

- 「令和8年熊本地震」の被害に対する義援金について (2026.08.03)
- Yaqumoとの共同研究により、量子コンピュータ向け光学モジュール開発を開始 (2026.8.31)
- 特許庁長官と知的財産活動に関する意見交換会を実施 (2026.9.8)
- MOFの設計・製造を行うスタートアップ企業Atomis社に出資 (2026.10.8)
- 半導体製造装置の生産能力強化に向けて、長岡京市に新拠点を開設 (2026.10.30)

AS

- テキストマイニングを身近にする『KH Coder オフィシャルパッケージ Ver 5』を発売 (2026.8.19)

Topics

Yaqumoとの共同研究により、量子コンピュータ向け光学モジュール開発を開始 <2026年8月31日>

・NEDOの量子コンピュータ研究開発事業に採択されたYaqumo社との共同研究先として参画
・原子操作を担う空間変調素子や多波長対応レンズなどを統合した光学モジュールを当社が開発担当
・冷却原子型量子コンピュータの産業化に向け、光学基幹デバイスの高性能化・国産化・モジュール化を推進

■協業を通じ期待される価値創出

・量子コンピュータの大規模化・高速化・高忠実度化に必要な性能を実現し計算サイクル時間の短縮を図る
・直接描画装置などで培った光学技術を活用し量子コンピュータ分野へビジネス展開

› 光学技術を次世代成長領域である量子コンピュータへ展開し、新たな事業機会の創出を目指す

Topics

MOFの設計・製造を行うスタートアップ企業Atomis社に出資 <2026年10月8日>

・京都大学発スタートアップであり MOF(多孔性金属錯体)のカスタム設計/製造/販売を行うAtomis社の株式取得
・MOFは、多種多様な気体を効率的に分離・吸着・回収できる次世代材料として、
脱炭素や省エネルギー分野での活用に期待されている

■協業を通じ期待される価値創出

・MOF技術を自社製品へ活用することで製品性能や競争力の向上を図る
・Atomis社の「気体制御技術」と当社のコア技術の一つである「界面制御技術」を組み合わせ、新たな価値を創出

› 次世代材料「MOF」の技術を持つAtomis社に出資し、自社技術との融合により社会課題の解決に取り組む

Topics

アニュアルレポート2026（統合報告書） 発行 <2026年9月30日>

2026年3月期の振り返りをベースに、中長期的に目指す姿の実現に向けた経営の想いと、
具体的な成長戦略に沿ったストーリーを展開



アニュアルレポートの
ダウンロードは[こちら]

Topics

2027年3月期 2Q決算後

当社主催 スモールグループミーティング開催のお知らせ

（機関投資家様・アナリスト様向け）

■ 日程：　日本語　2026年11月18日（水）　9:00 － 9:50

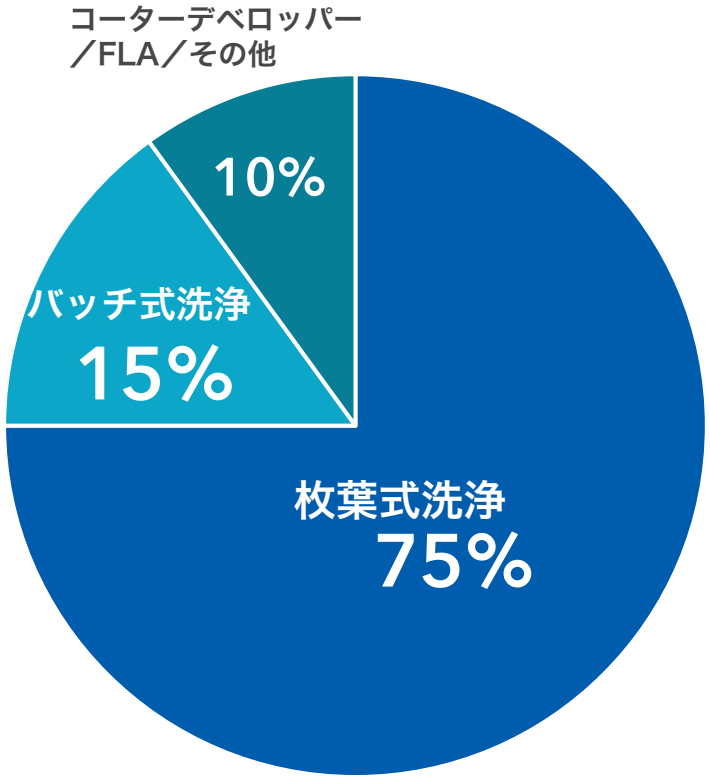
　　英語　　2026年11月24日（火）　9:00 － 9:50

■ オンライン（Teams）にて開催
詳細は近日中にメールにてご案内予定

■ スピーカー：代表取締役　取締役社長（CEO）　後藤 正人
常務執行役員（CFO）　石村　学
上席執行役員 グローバルコミュニケーション戦略本部長　乙部 千穂

Appendix: 製品別売上高比率

FY2027/03 上期



(%)	FY2024/03	FY2025/03	FY2026/03	FY2027/03 上期
枚葉式洗浄	70	80	75	**75**
バッチ式洗浄	20	15	20	**15**
コーターデベロッパー／FLA／その他	10	5	5	**10**

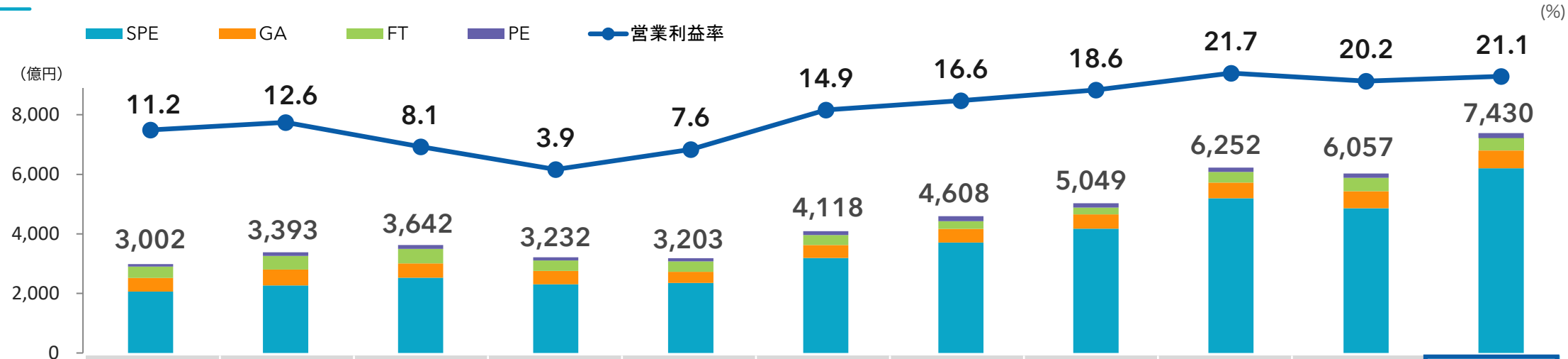
注）上記比率は、5%刻みの「約」表記

Appendix: 主要数値の推移

（億円）	FY2017/03	FY2018/03	FY2019/03	FY2020/03	FY2021/03	FY2022/03	FY2023/03	FY2024/03	FY2025/03	FY2026/03	FY2027/03（予想）
売上高	3,002	3,393	3,642	3,232	3,203	4,118	4,608	5,049	6,252	6,057	**7,430**
営業利益	337	427	296	125	244	612	764	941	1,356	1,225	**1,565**
営業利益率（%）	11.2	12.6	8.1	3.9	7.6	14.9	16.6	18.6	21.7	20.2	**21.1**
総資産	3,006	3,658	3,809	3,479	3,826	4,593	5,628	6,768	6,712	7,224	-
自己資本	1,428	1,708	1,791	1,739	2,083	2,477	2,998	3,718	4,206	4,865	-
自己資本比率（%）	47.5	46.7	47.0	50.0	54.5	53.9	53.3	54.9	62.7	67.4	-
ROE（%）	18.4	18.2	10.3	2.8	7.9	19.9	21.0	21.0	25.1	20.3	-
減価償却費	53	57	68	88	96	95	87	108	128	145	**180**
設備投資額	82	144	240	79	78	134	290	398	297	277	**580**
研究開発費	177	208	228	215	215	240	247	270	317	377	**430**
EPS（円）	127.99	152.16	96.78	26.84	81.30	244.14	304.08	371.05	511.77	486.63	**607.72**
配当金（円）	21.75	27.50	24.25	7.50	22.50	73.25	91.25	111.75	154.00	146.50	**183.0**

注）2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。さらに2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。
EPS、配当金はすべて、2017年3月期 期首に分割が行われたと仮定して算定しています。

Appendix: セグメント別業績推移



	(億円)	FY2017/03	FY2018/03	FY2019/03	FY2020/03	FY2021/03	FY2022/03	FY2023/03	FY2024/03	FY2025/03	FY2026/03	FY2027/03 (予想)
SPE	売上高	2,060	2,271	2,525	2,305	2,355	3,193	3,709	4,176	5,195	4,859	**6,200**
	営業利益	293	363	258	161	259	628	769	970	1,369	1,227	**1,590**
	営業利益率	14.2%	16.0%	10.2%	7.0%	11.0%	19.7%	20.7%	23.2%	26.4%	25.2%	**25.6%**
GA	売上高	458	534	482	455	374	433	456	477	530	574	**600**
	営業利益	14	30	11	14	5	16	33	42	42	36	**55**
	営業利益率	3.2%	5.7%	2.4%	3.2%	1.4%	3.8%	7.4%	9.0%	8.1%	6.3%	**9.2%**
FT	売上高	381	452	492	351	347	332	261	232	358	451	**420**
	営業利益	43	45	37	-25	4	5	-18	-4	30	67	**10**
	営業利益率	11.5%	10.2%	7.7%	-7.3%	1.3%	1.8%	-7.0%	-1.8%	8.5%	14.9%	**2.4%**
PE	売上高	89	121	123	100	104	133	168	146	141	145	**165**
	営業利益	7	10	7	-2	7	20	33	18	10	3	**15**
	営業利益率	8.4%	8.3%	6.2%	-2.6%	7.4%	15.6%	19.9%	12.7%	7.5%	2.6%	**9.1%**

注）予想金額は5億円刻みの「約」表記
2026年4月1日付でアドバンスドパッケージ事業を新規事業からFTへ移管を実施。FTの売上高･営業利益･営業利益率は2026年3月期 期首に当該移管が行われたと仮定して算定しています。